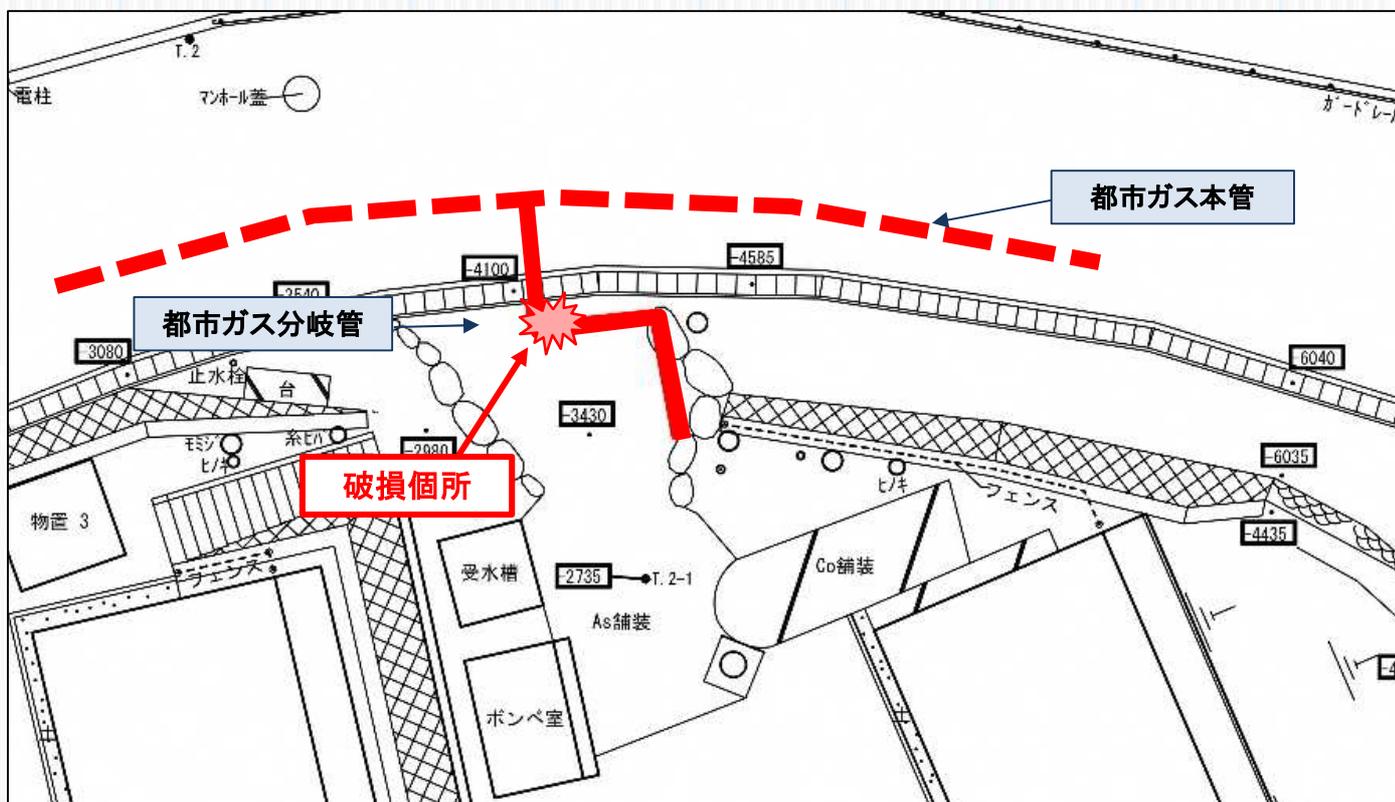


令和6年10月に共同住宅解体工事で発生した埋設配管破損事故の紹介です。

今後も工事事故事例や事務所独自の取組など情報を発信し、工事事故の防止を図っていきますので、よろしくお願いいたします。

## 埋設管を不使用管と思い込み重機で破損！

【令和6年10月1日 工事事故発生】



▲破損箇所位置図

### 事故概要

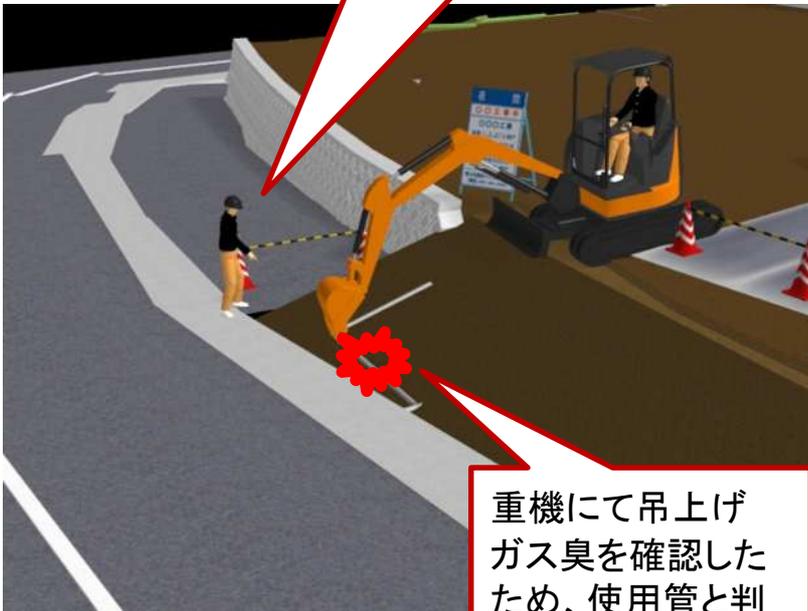
敷地内の外構解体工事後の整地作業中、埋設されていた都市ガス分岐管を重機で破損し、ガス漏洩を発生させた。

熱海土木工事事故発生件数	事故分類	工事関係者(傷害)	第三者(傷害)	第三者(物損)	工事事故合計	令和6年10月末現在
	件数	3	0	2	5	

## 事故原因

- ① 解体した施設がプロパンガスを使用しており、また、工事前の事前調査でも当該埋設管の情報提供がなかったため、**不使用管と思い込み、埋設物管理者や発注者に確認せず、主任技術者の独断で撤去を判断した。**
- ② 作業中に新たに発見された地下埋設物への対応の手順が明確でなかった。

**主任技術者が独断で  
不使用管と判断し、作  
業員に撤去を指示**



▲ガス漏洩時の状況

**重機にて吊上げ  
ガス臭を確認した  
ため、使用管と判  
明！**



▲ガス漏洩時の状況写真

## 再発防止策

- ① 地下埋設物の事故防止マニュアルに基づき、**埋設物管理者への確認や監督員への報告を徹底する**と共に、その取扱い方法を施工計画書に明示する。
- ② 作業中に新たに発見された地下埋設物への対応を**作業手順書**に追加し、その手順を作業員に**教育・周知**する。
- ③ 上記①②に加え、**工事事務ハザードマップ、予想される事故対策リストを見直し、日々のKY活動に活用**する。